



山並みを映してエメラルドに輝くイケダ湖。ロケーションも最高!

「イケダ湖」を世界から人が集まるウォータースポーツパークに——」そんなワクワクする夢を描く人々がいます。

三好市では平成29年(2017)から2年続けてラフティングとウエイクボードの世界選手権が開催されました。ラフティングの会場はもちろん日本有数の激流として知られる大歩危・小歩危。そして、ウエイクボード世界選手権の舞台となったのは、池田ダム湖でした。

ウエイクボードは、ボードに乗ってモーターボートなどに曳航され、水面を滑走するウォータースポーツで、波を利用したジャンプや宙返りなどのダイナミックな技が見所です。「池田ダム湖は両岸を山で囲まれているため、風が少なく、まるで鏡のような穏やかな水面

TOPICS

名付けて「イケダ湖」。世界に誇るウォータースポーツパークへ整備も着々と。「HESSOKKO CLUB」の体験会も春から再開!

へそっこ クラブ



WWAウエイクボード世界選手権大会

が特徴。景観も美しく、徳島自動車道からのアクセスもいい。ウォータースポーツには最高の場所!」と元アジアウエイクボード協会会長の薄田克彦(すくまだ)さん。第1回アジア大会(2016)に続き、アジア初となる世界選手権(2018)を三好市に招致し、成功に導いた立役者です。4日間にわたって開催された世界選手権では、34か国から参加した147人が湖上で世界トップレベルの技を繰り広げ、1万人以上のギャラリーを魅了。三好市の小学生で結成されたウエイクボードチーム「イケダコイレブン」も堂々たる演技で、6人が決勝に進出するなど大活躍しました。それだけではありません。豊かな自然、文化、そして地元のアたたかきもてなしに、世界から訪れた人々が「アメリカンジンギス」と口にするのを見て、三好市の人々は地域の魅力を再発見することができました。



SUPに挑戦! 初めはおっかなびっくり

池田ダム湖の魅力、可能性に惚れ込んだ薄田さんは三好市に移住。現在は三好市産業観光部企画監として、池田ダム湖の魅力を再発見することができました。そして、令和2年5月、三好市内のラフティングやウエイクボードの愛好家、市などでつくる「イケダ湖利用促進会」がウォータースポーツクラブ「HESSOKKO CLUB」を発足させました。まずはイケダ湖の魅力にふれてもらおうと、ラフティング世界選手権元女王の阿部雅代さんがインストラクターを務め、SUP(スタンドアップパドルボード)、ウエイクボード、ラフティング



阿部雅代さんは、ラフティングの女子チーム「THE RIVER FACE」で世界選手権を2度制しました。元世界女王に指導してもらえるなんて…!

ラフティングのキッズチーム「TRAKT」メンバー募集中です!



「よーい、はじめ!」ラフティングボートで水上綱引き



ウオータースポーツによる町の活性化を目指して、ダム湖と池田湖水際公園の整備を進めています。「池田ダム湖では味気ない(笑)。全国に池田湖があるので、『イケダ湖』の名称で知られるようにしたいです」と薄田さん。そして、令和2年5月、三好市内のラフティングやウエイクボードの愛好家、市などでつくる「イケダ湖利用促進会」がウォータースポーツクラブ「HESSOKKO CLUB」を発足させました。まずはイケダ湖の魅力にふれてもらおうと、ラフティング世界選手権元女王の阿部雅代さんがインストラクターを務め、SUP(スタンドアップパドルボード)、ウエイクボード、ラフティング



「イケダ湖を拠点に、町を元気にしていきたい」と語る薄田克彦さん

CLICK!

イケダ湖ウォータースポーツ体験会

イケダ湖でウォータースポーツを体験してみよう! 道具はすべてレンタル可能。手ぶらでアクティビティを楽しめます。日 時/5月~10月の土・日曜、月2回程度。午前・午後参加費/小人1,000円、大人2,000円。

※ 保険代、入会費が別途必要です

問合せ/まるごと三好観光戦略課 ☎0883-72-7620

